



2014～2015 年度

THE ROTARY CLUB OF KOSHIGAYA NORTH

越谷北ロータリークラブ



例会日:毎週水曜日 12:30～13:30

例会場:越谷市千間台東 1-1-6 クオレ千間台 2F

T E L 048(975)9898

F A X 048(977)3741

創 立:1976 年 5 月 11 日

会 長 : 松 崎 義 一

副 会 長 : 中 村 義 雄

幹 事 : 小 宮 山 大 介

会報委員長 : 関 雄 二 郎

第 1874 回 例会記録 No. 10

平成 26 年 9 月 24 日

司会 : 中島正義 編集 : 関雄二郎

会 次 第

1. 点鐘
2. ロータリーソング 「我らの生業」
3. お客様紹介 地区補助金運営委員会
川島 健委員(川口西 RC)
オブザーバー 廣瀬 浩司様
4. 会長挨拶
5. 幹事報告
6. スマイル報告
7. 外部卓話 「ロータリー財団に関する卓話」
地区補助金運営委員会
川島 健委員(川口西 RC)
8. 出席報告

会長挨拶



松崎義一 会長

会員の皆様こんにちは。

本日は、地区補助金運営委員会、川島 健様に卓話をお願いいたします。

又、オブザーバーの、廣瀬 浩司様ようこそいらっしゃいませ。是非ご入会いただきますよう、お待ちしております。

小林 光則会員に、RI より送られてまいりました紹介者バッジを差し上げます。

さて 1948 年 9 月は、本田技研工業が設立されました。

本田技研工業株式会社は、東京都港区に本社(発祥の地は静岡県浜松市)を置く大手輸送機器及び機械工業メーカーであります。

そこで、創業者 本田 宗一郎氏に、ついて調べてみました。

次回例会案内 平成 26 年 10 月 15 日

結婚記念・誕生祝い

3 分間ロータリー情報

外部卓話「米山月間に寄せて」

越谷北ロータリークラブ

「拡げましょう 奉仕の輪」

ホームページアドレス

2014-2015 松崎義一会長 提言

<http://koshigayakitarc.dyndns.org/>



本田 宗一郎(ほんだ そういちろう、1906 年(明治 39 年)11 月 17 日生 - 1991 年(平成 3 年)8 月 5 日 没日本の実業家、技術者。本田技研工業(通称:「ホンダ」)の創業者

小学生の頃、通信簿を親に見せ、ハンコをもらう必要がありましたが、しかし見せられる成績ではないので、自作した偽造ハンコで乗り切ることにしたそうです。それはよい手だと、次の学期には友達にも求められ作ったが、全て鏡文字となっていたため簡単に発覚したそうです。しかし、『本田』の文字が左右対称で、鏡文字でも同じ文字になる当人だけは偽造が発覚しなかったとのこと。

終戦直後は何も事業をせず、土地や株を売却した資金で合成酒を作ったり製塩機を作って海水から塩を作って米と交換したりして「遊んで」いたという。しかしこの時期に、苦勞して買い出しをしていた妻の自転車に「エンジンをつけたら買い出しが楽になる」と思いつき、オートバイ研究が始まったそうです

会社のハンコを、本田宗一郎氏の参謀の藤沢武夫に預け経営も全て任せ、本田宗一郎は、社印も実印も見たことがなく、技術部門に集中し後に「藤沢がいなかったら会社はとっくのとうに潰れていた」と述べており、藤沢も「本田がいなければここまで会社は大きくならなかった」と述べている。互いに「西落合」(本田の自宅のある地)、「六本木」(藤沢の自宅のある地)とざっくばらんに呼び合っていたそうです。また両者は「会社は個人の持ち物ではない」という考えをもっており身内を入社させなかった。ですから、宗一郎は社名に、個人の姓を付けたことに後悔もしていたそうです。

経営難に陥ったときに藤沢の助言でマン島 TT レースや F1 などの世界のビッグレースに参戦することを宣言し、従業員の士気高揚を図ることで経営を立て直した。出場宣言は藤沢によって書かれたそうです。

従業員からは親しみをこめて「オヤジ」と呼ばれて

いたが、一方で共に仕事をした従業員は共通して「オヤジさんは怖かった」とも述べている。作業中に中途半端な仕事をしたときなどは怒声と同時に容赦なく工具で頭を殴ったり、実験室で算出されたデータを読み上げる社員に対し「実際に走行させたデータを持ってこい」と激怒して灰皿で殴るなどしていた。しかし、殴られたはずの者よりも、殴った宗一郎の方が泣いていたということもあったという。また怒る際、「よくお前が可愛いから怒るといが、俺はお前が本当に憎いから怒るんだ」と言っていたそうです。

南青山の本社ビルを新築する際「万が一地震が起こったときに割れたガラスが歩道を歩く人に降りかからないようにしなさい」と指示し全フロアにバルコニーがつけられたという。また藤沢も全く同じ指摘をしていたという。ちなみに、ビルの設計は、初代シビックのイメージに基づかれていたという。

社長退職後は、全国の HONDA ディーラー店を御礼参りしたそうです。

皇居での勲一等瑞宝章親授式へ出席の際「技術者の正装とは真っ白なツナギ(作業着)だ」と言いその服装で出席しようとしたが、さすがに周囲に止められ最終的には社員が持っていた燕尾服で出席したそうです。

無類の鮎の友釣り好きで年に 1 度は多数の客を自宅に招き鮎を放った小川で「鮎釣りパーティー」を行っていたとのこと。

大の別荘嫌いで「1 年の内に 1 週間から 10 日しか住まない所に金をかけるなんて実にバカらしい」と言い生涯所有はしなかったそうです。

作家・経済評論家の邱永漢(きゅうえいかん)にホンダの海外の工場が一番うまくいっているところと一番具合が悪かったところを問われ、良いほうを「台湾」、悪いほうを「韓国」と答えた。その理由を問うと「台湾に行く台湾の人がみんな私に『こうやって自分たちが仕事をやれるのは本田さんのお陰です』と言ってものごく丁寧に扱うのです」と答えたそうです。自動



車やオートバイの技術を持っていなかった台湾に技術を伝えた本田に対して“台湾人は”ちゃんと相応の感謝をしていたというエピソードがあるそうで、一方、韓国の工場が具合悪かった理由を問うと「向こうへ行ってオートバイを作るのを教えた。それで一通りできるようになったら「株を全部買いますから帰ってくれと言われた」そのことを聞いた本田は「そんな株要らねえよ、売っちまえ」と答えたそうです。

社長を突如退任した理由は、マスキー法施行に対応する低公害エンジンを開発中の若手技術者が、本田が低公害エンジン開発について「ビッグ 3 と並ぶチャンスだ」と発言したことに対し、「自分たちは会社のためにやっているのではない。社会のためにやっているのだ」と反発、その旨を当時専務だった河島喜好に訴え、河島からその旨を伝え聞いた本田が「いつの間にか私の発想は企業本位に立ったものになってしまっている」「自分の時代は終わった」と感じたため退任したとのことです。

意外に思われるが、岩倉信弥によれば高級品が大好きで、時計などはブランド品の良いものを好んでいたという。しかし、これは、「一流であるものを知っておく」という自論からであり、実際に「ベンツのクオリティ並の軽自動車を作る」といった事も提言し、アコードとメルセデスベンツの乗り心地を技術者にドライブさせ比較検証するなどでも実践していたとのことです。

逝去の 2 日前、さち夫人に「自分を背負って歩いてくれ」と言い、夫人は点滴の管をぶら下げた宗一郎を背負い病室の中を歩いた。そして「満足だった」という言葉を遺した。弔問時に遺族からそのエピソードを聞いた親友の井深大は「これが本田宗一郎の本質であったか」と述べ涙したという。

その井深大とは、共に技術者出身であり感じるものがあり、出会ってから自然と親友となり、そして「互いの頼み事は断らない」などのルールを決め、互いに文化事業などの役員を推薦し合って務めたという。また、互いに手紙をやり取りしあうことも忘れず、ある時

に井深が「ワープロで手紙を送って、彼を驚かそう」と手紙を打っていたが、寸前に宗一郎が帰らぬ人となり、その手紙を送ることは叶わなかったそうです。

三不運動に関して、「高校生から教育の名の下にバイクを取り上げるのではなく、バイクに乗る際のルールや危険性を十分に教えていくのが学校教育ではないのか」と発言し、終始批判的なスタンスを取り続けたとのことです。

逝去時に社葬は行わなかった。なぜならば、「自動車会社の創業者の自分が葬式を出して、大渋滞を起こしちゃ申し訳ない」という遺言によるためとのことです。

お客様紹介

地区補助金運営委員会

川島 健委員(川口西 RC)

オブザーバー 廣瀬浩司様

RI より紹介者バッチの進呈



高瑠美子会員の紹介者

小林光則会員



RLI よりパート I 修了書授与



大熊正行エレクト

- 本日の昼食のおこわは、中島会員が先日キノコ狩りに行った際の収穫物です。奥様が炊いています。
- 会長からのドリンクをお持ち帰りください。

卓話



地区補助金運営委員会

川島 健委員(川口西 RC)

幹事報告



小宮山大介 幹事

R 財団はアーチ・クランフが創り P ハリスが育てた。クランフは何故 R 基金を創ったか？

- イ) 社会奉仕、職業奉仕→国際奉仕の必要性
- ロ) 第1次大戦 1914 年～1918 年

財団創立の 10 日前にシカゴ C の会員メルビン・ジョーンズが団体奉仕を主張してライオンズ C を創った R 財団の使命・RI の使命

Rtn間の親睦を通し

- ①他者に奉仕
- ②自己の高潔性を高め
- ③国際理解・親善平和を推進する(advance)

R 財団の使命

健康状態を改善、貧困を救済し人々の教育への支援を高める事を通して国際理解親善平和を推進するようにする。

(enable to advance)

RI の使命の国際理解 親善 平和の推進は RI の国際奉仕理念そのもの。つまり R 財団の目的使命は国際奉仕の実現が目的です。

現在、財団の活動範囲が拡大

地区補助金—社会奉仕に使える

地区より

- 地区大会 2 日目(11/16 日)インターアクトクラブによる東日本復興支援募金活動があります。皆様の温かいお心付けをお願いいたします。
- 2015-16 地区役員推薦の依頼が届きました。自選があればお申出ください。
- 高校生海外研修派遣団員の募集案内が届きました。
- 2014-15RYLA 研修セミナーの募集案内が届きました。
- (再通知)職業奉仕月間セミナー プレミアム夜話会のご参加をよろしくお願ひします。
11/17(金)ラフォーレ清水園にて
- 来週はガバナー公式訪問です。ご欠席のなきよう、またクールビズ期間終了しますのでよろしくお願ひします。

越谷北ロータリークラブ

「**広げましょう 奉仕の輪**」

ホームページアドレス

2014-2015 松崎義一会長 提言

<http://koshigayakitarc.dyndns.org/>



GSE→VTT—職業奉仕の考え

次年度から青少年奉仕にも地区補助金で参加出来る様になります

R の 5 大奉仕の内クラブ奉仕を除く 4 つの対象奉仕が財団で出来る事になります。

R 財団は RI の奉仕の理想を実行する実務組織、その為多くの人、物、金を持っている組織です。奉仕活動の実践には現実として多くの資金が必要になります。R は皆様からの善意の寄付を財団本部が一時預かり、3 年間資金運用し 3 年後に戻した寄付金を世界中の Rtn に分配して奉仕の喜びを共有するシェアの考えで運用します。その戻し入れのシステムがシェアシステムです。皆様の寄付の目的と意義はここにあります。一部の Rtn の奉仕ではなく世界中の Rtn の奉仕により R の夢を実現する為に財団は存在するのです。

次に皆様すでに御存知と思いますが一応再確認をさせていただきます。

奉仕の財源である寄付について説明

A) 年次寄付: 3 年間財団に預けて資金運用してもらい 3 年後に 50% が地区の DDF として戻る

1) 寄付目標 地区 200\$/人

日本全体では 150\$/人

世界では every Rtn every year として 100\$/人
ポール・ハリス・ソサイエティ: 年次又はポリオに毎年 1,000\$ 寄付する人の会

2) 寄付に対する認証

A) ポールハリスフェロー: 年次寄付 1,000\$

マルチプル・ポールハリスフェロー: 2,000\$ から 9,999,99\$ 迄

大口寄付者: 年次・恒久・使途指定の合計 10,000\$ 以上

アーチ・クランフ・ソサイエティ: 累計 250,000\$ 以上となった人の会

B) 恒久基金寄付: 財団の基本財源への寄付金でその3年前までの累計元本に対する運用益か

ら、財団運営費を除いた部分の 50% が DDF して戻る

1) 寄付目標

50 人未満のクラブ 1,000\$×1 人=1,000\$

ベネファクター、50 人以上のクラブが 1,000\$×2 人=2,000\$

2) 財団 100 周年の 2017 年迄に 10 億ドルの恒久基金目標設定中

C) 使途指定寄付

ポリオプラス、平和センター、冠名奨学金
グローバルの提唱者側寄付

D) R カード

個人用 スタンダード・ゴールドカード

利用金額の 0,3% がポリオプラスに寄付、ポイント制があり 1,000 ポイントで 5,000 円が個人の年次寄付へ加算

法人用 ビジネスカード

利用金額の 0,5% と年会費 3,150 円の内 1,500 円がポリオプラスに寄付

E) 財団への寄付については税額控除、寄付金控除の税制上の優遇措置有り

次に奉仕の援助金である補助金についての説明

① 3 年前の年次寄付の元本合計の 50% が当該年度 DDF として戻る

② 3 年前迄の累計の恒久基金、残りは WF として財団の奉仕財源となる。元本の運用益で財団運営費を除いた部分

DDF の使用については①財団の使命②授与と受諾の条件③Rtn が利益を受けることを禁止した「利害の対立」の制約を受けた事業が対象となります。

A) 地区補助金

イ) 国内外で 1 年以内の短期プロジェクト

ロ) 地区裁量枠が大きく、DDF のみ使用

B) グローバル補助金

イ) 海外の RC との共同事業で 6 つの重点分野が対象



ロ) 3-4 年の長期プロジェクト	○ 青少年奉仕にも使える
ハ) 事業に持続可能性、計測可能性が必要	○ 建設規定が新增設にも使える様になる
ニ) 総事業 30,000\$以上	3) 一定の条件の元で他団体への金銭支援可能
ホ) DDF と WF 使用	4) 新規パッケージグラントの禁止
Ｃ) パッケージグラント	財団は創立 100 周年の 2017 年に向けて大きく変化
WF 使用	しつつある様です。
次年度から新規中止	100 周年誌の名称も「世界で良い事をしよう。人々の
財団の現在行なっているプログラムについて	心に触れた 100 年間」と決ったようです。
A) ポリオプラス・プログラム→RI のコーポレートプログラ	財団は皆様から善意の寄付を集めて、それを奉仕の
ム(全 Rtn が取り組む最優先の事業の事)	財源として世界中で R の夢に向かって進化して行き
現在 GPEI は 2015 - 2018 年にかけてポリオ撲	ます。引き続き皆様の御支援を御願ひいたします。
滅エンドゲームを実施中→R のポリオについて	R に於けるポリオ撲滅の歴史
の取り組みは別紙資料による	1978 年東京国際大会で 3H プログラムが RI 事業と
B) 平和センター: 世界理解と平和の達成と言う財団	して採択
使命実現の為の最優先の教育的プログラム。6	3H プログラム=保険・飢餓救済・人間性尊重・個人奉
センター7 大学で平和学を学ぶ大学院を支援	仕から国際奉仕に重点化
C) VTT: 職業研修チーム	最初の 3H プログラム。1979 年フィリピンで 600 万人
専門職業人が海外に行き職業技能知識の研修を	の子供にポリオの予防接種を行うポリオプログラムとし
する	て実施
D) 奨学生	1982 年 東京麹町 RC の山田つね会員が南インドで
E) 人道的プルジェクト	ポリオプログラムを実施
財団の次年度からの変更点	1985 年 3H プログラムから R 創立 80 周年を記念し
1) 新しい補助金モデルの採用	てポリオプラス計画スタート
イ) 理由 現状の資金運用の収益では充分な財団本	ポリオプラスプログラム 2000 年迄にポリオの他 1) 麻
部の運営費が賄えない	疹、2) 破傷風、3) 百日咳、4) 結核、5) ジフテリアの 6
ロ) 方法 寄付からの財団取り分を多くする	種を撲滅させる計画
ロー1) 3 年前の年次寄付元本の DDF/WF50%	現在のプラスの意味、今後の保健活動に生かせる
の内 WF の枠から 3 年前年次寄付元	遺産・ノウハウ(ポリオワクチンの購入、運搬、広報、
本の 5%を財団運営費にする	医療スタッフの手当等)
ロー2) グローバル事業のクラブ支出金の 5%を	1988 年 GPEI 発足(Global polio eradication i
財団運営費にする。例 クラブ支出金	nitiativl) = RI + 指導的パートナー
1,000\$→1,050\$	(WHO・UNICEF・CDC)
ロー3) 企業や団体からの寄付金の 10%を財団	1995 年 ポリオ・プラス・パートナー発足
運営費とする	全国予防接種日実施のヘルスワーカーの経費
2) 補助金の「授与と受諾の条件」の変更	ポリオ撲滅に必要な用具や補給品に使う
イ) 地区補助金範囲の拡大	2007 年 1) 規定審議会で「ポリオ撲滅を全ロータリー



を上げて行う最優先のコーポレート・プロジェクトとして承認された」

2) ビル&メリンダゲイツ財団がポリオ撲滅の為「1 億ドルのチャレンジグラント」を授与した

2009 年 国際大会でビル&メリンダ財団から RI に「2 億ドルチャレンジ」(2012 年 6 月 30 日迄に R は 2 億ドル集めれば B&M 財団は 3,55 億ドル寄付する) → 結果 2 億 2870 万ドル集めた。B&M 財団は R が期日より早く集めたことに敬意を表し追加で 5,000 万ドル寄付してくれた、結果、合 2,287+3,55+0,5=6,337 億ドル寄付

2012 年 2 月 WHO からインドが常在国から除かれた

2013 年 リスボン国際大会で B&M 財団から 2:1 のチャレンジギフトの提案

2013 - 14 年度～2017 - 18 年度の 5 年間で毎年 R から 3,500 万ドル集めたら B&M 財団は 2 倍の

7,000 万ドル寄付する合計 (3,500 万 + 7,000 万) × 5 年 = 5,25 億ドル

2013 年 4 月 GPEI は世界ワクチンサミットでポリオ撲滅エンドゲーム戦略計画提出

1) 2015 年中 イ) 野生ポリオの撲滅
ロ) 生ワクチン完全投与と終了

2) 2017 年中 イ) ワクチン由来の感染対策
ロ) 不活化ワクチン完全導入
ハ) 未発生の監視

3) 2018 年 イ) ポリオ撲滅宣言

総資金 55 億ドル必要

確保済 49, 6 億ドル

不足 5, 63 億ドル

2014 年 3 月 WHO はインドのポリオ撲滅を確認し、東南アジアをポリオフリーと認定

2014 年現在

1、R が行うべき事 = 資金増進

1) クラブ 1,500 ドル/年、地区 DDF の 20%

2018 年迄寄付奨励

2) 政府、他組織への寄付推進: アドボカシー

2、政府、国際機関が行うべき事: ワクチン投与できる環境作り

現在

1) 野生ポリオウイルス: 1 型、2 型、3 型の内 2 型は 1999 年絶滅。1 型が残っている

2) 野生ウイルス生存国 パキスタン、アフガニスタン、ナイジェリア

問題点

1) 野生株存在国が紛争地域の為子供達にワクチンを投与出来ない

2) 生ワクチン由来ポリオ・ポリオキャリア移動による 2 次感染の拡大 → WHO が「ポリオの国際衛生上緊急事態宣言」を出し世界に警戒を呼びかける



スマイル報告



・地区補助金運営委員会、川島健様本日卓話宜しく
お願い致します。オブザーバー廣瀬様ようこそ。

松崎義一・小宮山大介・松井昭夫・須賀篤史

石川輝次・小林操・市川洋和・鈴木英男

本間孝・中村義雄・関森初義・稲垣勝三

堀野眞孝・大熊正行・江口公晴・若海兵馬

今井英治・宮崎敏博

・卓話お邪魔しました。宜しくお願いします。

川島健(川口西 RC)

・太田さん、岡崎さん、松井さんお世話になりました。

一柳昌利

・気持ち良い初秋に入り、眠い日が続きますね。

小河内梅幸

・お世話になります。

高瑠美子

・川島様・廣瀬様ようこそ。世界平和の為に。

須賀篤史・大濱裕広

・皆様スマイルご協力いつもありがとうございます。

本間睦人



出席報告

会員数	55 名
出席免除者	11 名
出席者	41 名
欠席者	14 名
出席率	80.3 %

10月の予定

10/1(水曜日)4つのテスト

ガバナー公式訪問

第4回クラブ協議会

10/4(土曜日)浪江 RC 合同移動例会兼親睦旅行

(10/4~10/5)振替例会 10/8

10/15(水曜日)結婚記念・誕生祝い

3分間ロータリー情報

外部卓話(米山月間に寄せて)

10/22(水曜日)ロータリーの目的

雑誌記事紹介

外部卓話(職業奉仕月間に寄せて)

10/26(日曜日)越谷市民まつり

振替例会(10/29 例会変更)